

# 宮崎障害者雇用支援センター通信 No.37

平成23年9月発行

〒880-0824 宮崎市大島町北ノ原1030-1  
TEL:0985-22-9121  
FAX:0985-22-9122

<http://www.miyazaki-koyoukaihatu.com/>  
Email:koyou-s@vanilla.ocn.ne.jp

## 特集：就職後の支援

### 職場実習報告

今年の夏も暑い！！  
暑さに負けずがんばっています！  
いずれも就労経験がありません。よい体験となりました。



Y生(男 22歳)

実習内容：病院 院内清掃業務  
通勤方法：バス(乗換)、バス+自転車

修了生2名が勤務している事業所に実習のお願いをしたところ快く受け入れていただき4月下旬より職場実習を開始しました。



早番・遅番のシフト制です。当初は、通勤にも慣れないことから週3日遅番を2週間勤務してから毎日勤務に入りました。5月いっぱい、センター経由で自転車通勤をしました。6月からは直行直帰となり、週に1回センターに立ち寄り実習の復習や振り返りを行っています。

Yさんは、作業は丁寧で綺麗なのですが、作業スピードが課題です。最初の頃は時間がきたら作業を終えていましたが、今は退勤時刻を過ぎてても全ての作業が終わるまで、という意識も出てきたようです。

ゴールデンウィークもお盆の期間も休みなく勤務できました。今まで1日の欠勤も遅刻もなく頑張っています。

障害特性から早めに評価の結果を出すのではなく、期間を長めに設定していただきました。開始して3ヶ月を過ぎてからは課題のスピードアップ解決を目指して取り組んでいます。



O生(男 28歳)

実習内容：スーパーマーケット 清掃業務  
通勤方法：バス+徒歩



Oさんにもようやく職場実習の機会が訪れました。

実習開始後2週間は平日勤務をしましたが、その後は3勤1休、2勤1休という変則シフトになりました。お盆期間も仕事でした。

駐車場のゴミ拾いや花壇の除草作業など屋外での作業も多く、炎天下、あつという間に真っ黒に日焼けしました。お客様用トイレや従業員用のトイレ清掃、バックヤード通路の除塵・モップ掛け、ゴミの分別など仕事は多岐にわたりました。

実習先の従業員の方々への挨拶はもちろん行き交うお客様への挨拶もなかなか難しく最初は声が出ませんでした。貸与された制服を毎日洗濯し清潔な身なりに気を配ることも課題でした。

約1ヶ月の職場実習を欠勤・遅刻なく終えることができました。

就労に向けての自身の課題を改めて確認できました。仕事をする責任を認識できた貴重な体験となりました。

約1ヶ月の職場実習を欠勤・遅刻なく終えることができました。

就労に向けての自身の課題を改めて確認できました。仕事をする責任を認識できた貴重な体験となりました。



## その① 定着への支援

“ずーっと働きたい！”そんな思いが叶うよう、  
就職後も個別ニーズに沿ったサポートをします。

Nさん（7月就職）  
業種:小売業 主な仕事:炊飯係  
★報・連・相をもっとスムーズに！

定着支援では、事業所に出向き、本人の作業状況や、職員の方に仕事の様子を確認します。

Nさんの場合、「指示された仕事は最後まで責任を持って終わらせる」という評価の一方、「分からない事を聞く事ができない。」と報告や相談についての課題が挙がってきました。

そこで、Nさんの公休日に通所日を設け、記録している日誌を基に面談や振り返りを行っています。本人自身が気づき、意識して取り組めるよう、ロールプレイや滑舌（発声）練習等も取り入れる事もあります。

指導員との振り返りや面談を行う事で、本人の不安も和らぎ、明日からの目標につなげていけるようです。

事業所からも、Nさんの定着へ向けて指導の仕方や接し方について「こういった状態のときはどう対応すればいいですか？」「指示出しはこういうやり方でよかったですでしょうか？」等相談や確認など特性理解の協力をいただいています。



滑舌練習に取り組むNさん

Hさん（7月就職）  
業種:製造業 主な仕事:部品組立  
★休日の過ごし方、金銭管理、体力づくり



朝のランニング

採用後も、まだ課題が残っていたHさん。公休日はセンターで体力づくりや、金銭管理などを学んでいます。仕事に就いたら、これまで親に任せきりになっていた事を自分でやりくりしていきたいと思うようになりました。

そのために、もう少しだけ、サポートを継続。センターは、主に土曜日をフリーターキング（以下、FTに略）の日としています。Hさんは、休日に、フリーターキング等に参加。FTのテーマの中には、もちろん金銭管理のことも入っています。9時15分～11時半まで（途中10分程度の休憩を挟み）グループやペアなどで、ゆっくりテーマを進めていきます。

他には、お小遣い帳のつけ方や、作業の振り返り、それに、…体力づくり！！  
念願かなって手に入れたお仕事です。ずっと続けられるように、**体力も重要なPOINT！**なのでから♪

Iさん（7月就職）  
業種:小売業 主な仕事:野菜の袋詰め  
★コミュニケーションスキルの向上

Iさんは今の仕事を気に入り、実習の時から長く続けたいとの思いを持っていました。しかし、コミュニケーションが苦手なため、なかなか周りに理解してもらえない事、又、自らの気づきが少ないため、他者からの声かけ等が必要な事が就労後の課題です。Iさんの「ずーっと働きたい！」とのニーズがかなうよう、Iさん・保護者の意向を聞き、就労後も、センターで支援を続けていく事になりました。

シフト制で休日が固定ではない為、生活リズム

ムが乱れる事が一番の課題です。

休日を上手に過ごす事が難しいと保護者からの相談もあり、通所できる日はセンターに通所しています。

センターでは指導員と仕事の振り返りをし、コミュニケーションの取り方を話し合ったり、作業（バックシーラー）の練習をしたり。

徐々に一人で休日を有意義に使える様、休日の過ごし方の訓練も行う予定です。



Iさん、玉ねぎのシーリング

## その② ジョブコーチによる支援

就職後の継続的な支援・事業所の障害者雇用支援のために、第1号職場適応援助者を当センターに配置しました。



### 導入事例 Mさん (事業所の相談により支援を実施)

**導入の経緯：**就職後3ヶ月を経過した頃より、慣れからか、作業スピードの低下やミスが目立つように。事業所より「ジョブコーチ制度を利用したい」との相談が。

**事前支援：**状況(原因)把握・分析を行い、課題を明確にしました。Mさんの課題は、「無駄なく、効率のよい手順の習得と作業スピードの向上」

**集中支援：**作業手順の見直し、正しい手順習得の指導を実施。手順書を作成し、本人特性に合わせて、視覚支援を重視しました。

**現在の様子：**Mさんも、手順を意識した仕事ができるようになり、スピード、ミスともに改善が見られます。

**今後の課題：**今回、身につけた手順を3か月後、1年後と定着できるように、Mさん、ジョブコーチ共に日々、奮闘中です。

### ジョブコーチって??

「ジョブコーチ」は、障害を持つ方と一緒に職場に入り、その方が一人で作業できるよう作業遂行上の支援をしたり、安定した生活が送れるように支援を行います。また、必要に応じて事業所や家族に対しても提案・助言を行います。

「ジョブコーチ」は、いわば、障害者・事業所・家族の架け橋となるような支援を行います。



## 番外編 聞かせて！先輩！！

修了生(就職された方)と在籍中の訓練生との交流の機会を設けお互いのモチベーションを上げていきます。

※6月下旬に行った修了生からの講話の様子をお伝えします。

報告してくれた修了生は5名。(公休を取って来てくれた修了生も)

在籍中の思い出や、職業人としての生活の様子を報告してくれました。

修了生に生活の様子のアンケートを取った結果は、下表のとおり。障害をもちながら、就労をしている方の貴重なナマの情報です。



Tさんの休日の過ごし方は... “お給料は、何に使うと?”

### ■修了生へのアンケートより

在職期間	年齢	就職して大変だったこと	嬉しかったこと	就職後役に立ったこと	給与の使い方	休日の過ごし方
1年6ヶ月	20代	人間関係	仕事がスピードアップしたとき	体力づくり	食費等を家へ入れる	原付でドライブ テレビ
1年11ヶ月	20代	仕事量が多い	きれいに仕上がった時	実習に向けての訓練	携帯電話	カラオケ・DVD
2年1ヶ月	20代	夏の暑さ	お客様が喜んでくれる		弁当・服	釣り・会社の飲み会
1年5ヶ月	20代	慣れるまで	初めての給料	あいさつ	習い事・本、雑誌・携帯	ドライブ・買物・テレビ
3ヶ月	30代	仕事量が多い	ミスなく仕事が終わった時 初めての給料	あいさつ・返事 体力づくり	洋服・靴	ジョギング・地域活動

報告の後には、交流会。センター修了後の生活の様子に訓練生は、興味深々。

・お給料や通勤手段、勤務時間の事

・センターの在籍期間

・役に立ったカリキュラム

など、就労を具体的に意識した質問が多く挙がりました。

”話を聞くと仕事をするのが楽しいと思った。”

”仕事の厳しさがよく伝わってきた”

”目標を持って作業に取り組まなければいけないと思いました”などなどの感想が。

職業人としてのイメージが掴めてきたようです。訓練生のモチベーションを維持できる支援を行っていきたいと思っています。



# 健康管理・体力強化 体力つけて耐力もGET！

## 体力測定、行いました！（7月2日及び9日土曜日）

現在の身体機能や運動能力の確認・意識づけのために体力測定を実施しました。

内容は、**握力**（握る、掴むは仕事でも大事な力です）・**反復横とび**（俊敏性はどれくらい？）  
他に、腕立てや腹筋、垂直とび…他計13種目。

さて、結果は…



### 測定の結果

- ・さん（腹筋51回）…センターNo1！！
- ・Oさん（垂直とび40センチ）…本人もびっくり！の素晴らしい記録です！
- ・Mさん（反復横とび120回）…かなり好記録です！

### 測定後の感想より

思っていたよりも、**体力が落ちていた**。運動不足も痛感した。  
体力は一日でつくものではないので、**毎日自分で継続**して出来る  
体力づくりを自分なりにやっていきたい。

体力があると、病気への抵抗力、労働に耐える力、疲労からの早い回復も備わってくるといわれます。これらは、**一般就労に大切な要素**です。  
センターでは、毎朝、ラジオ体操・ダンベル体操・ジョギングを日課として行っています。9月中旬からは、ウォーキングも行い健康管理と体力強化の支援を実施しています。

日常生活の中でも、軽い運動や、筋力アップのためのトレーニングをできるだけ取り入れていきたいものですね♪

## 理学療法士さん、保健師さん来所（8月31日水曜日）

“いきいき生活続けるために”と題して健康指導を行っていただきました。

外部講師の方をお招きするのは、初の試み。訓練生も指導員もドキドキ…。

分かり易い劇で、**血圧やBMIの事、メタボリックシンドロームの恐ろしさ**等を説明し、**適切な運動の必要性、食事や飲み物について**等振り返りもできたようです。

ただいた後、**現在の自分の体重や血圧が健康上、どの位置にあるのか**を確認。その後、**ストレッチやカイゼンジャーテーマソングに合わせて体操**を教えてくださいました。

中には、**高血圧気味やBMI判定でやせ傾向や肥満傾向の人**も。専門職の方と自分の状態を確認できたことで、**自覚も進**動かす”を体験できました。



### 見学ありがとうございました

センターの業務内容を知っていただくために随時見学受けつけています。

- ・宮崎大学教育学部派遣研修生
- ・支援学校保護者会の皆様
- ・宮崎リハビリテーション学院の皆様
- ・支援学校寮宿舎職員の皆様



### 修了証を掲示しています

就職が決まると修了式を行い、修了証を授与しています。

平成21年の移行支援事業開始以来、すでに16枚！

修了後もそれぞれの個性を發揮し頑張っているようです。

（番外編を参照下さい）

さてさて、次の修了証を手にするのは…



### ホームページリニューアル

最新の支援の様子や、日々の出来事等をお伝えするスタッフブログを追加しました。

過去の通信も更に見易く！是非、一度見てみて♪



“宮崎障害者雇用支援センター”で検索！

今夏の個別利用相談会にも多くの方に来所いただきました。

在学中の方、新しい一歩を踏み出そうとされる方。いろいろな出会いの中で支援機関との連携の大切さを再認識した夏もありました。

障害者の就職に関するご相談を受け付けています。

お気軽にご連絡ください

☎0985(22)9121

